

早期景気観測調査

【6-7月期 調査結果概要報告書】

令和3年8月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和3年7月15日(木)～7月30日(金)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 91件
7. 有効回答率： 68.9%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【6-7月期の動き】

全体業況は▲8.8と、前期と比べて15.6ポイント減の大幅な悪化。向こう3ヶ月の業況は▲5.5と改善の見通しだが、新型コロナの感染拡大を危惧する事業所が多数。

6-7月期の全業種総合の業況DIは、▲8.8（前期比15.6ポイント減）と大幅に悪化した。

向こう3ヶ月の先行き業況は改善する見通しだが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては悪化すると危惧している事業所が多数みられた。

業種別では、サービス業のみ横ばい、それ以外の業種は全て悪化となった。

製造業の業況DIは22.7（前期比7.3ポイント減）と5期ぶりの悪化となった。

○改善⇒金融貸出しDI、従業員DI ○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

建設業の業況DIは▲37.5（前期比2.2ポイント減）と3期ぶりの悪化となった。

○改善⇒従業員DI ○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

卸売業の業況DIは0.0（前期比26.3ポイント減）と7期ぶりの悪化となった。

○改善⇒売上DI、金融貸出しDI ○悪化⇒採算DI、仕入単価DI、従業員DI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

小売業の業況DIは▲27.8（前期比45.4ポイント減）と3期ぶりの悪化となった。

○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI ○横ばい⇒従業員DI、金融貸出しDI

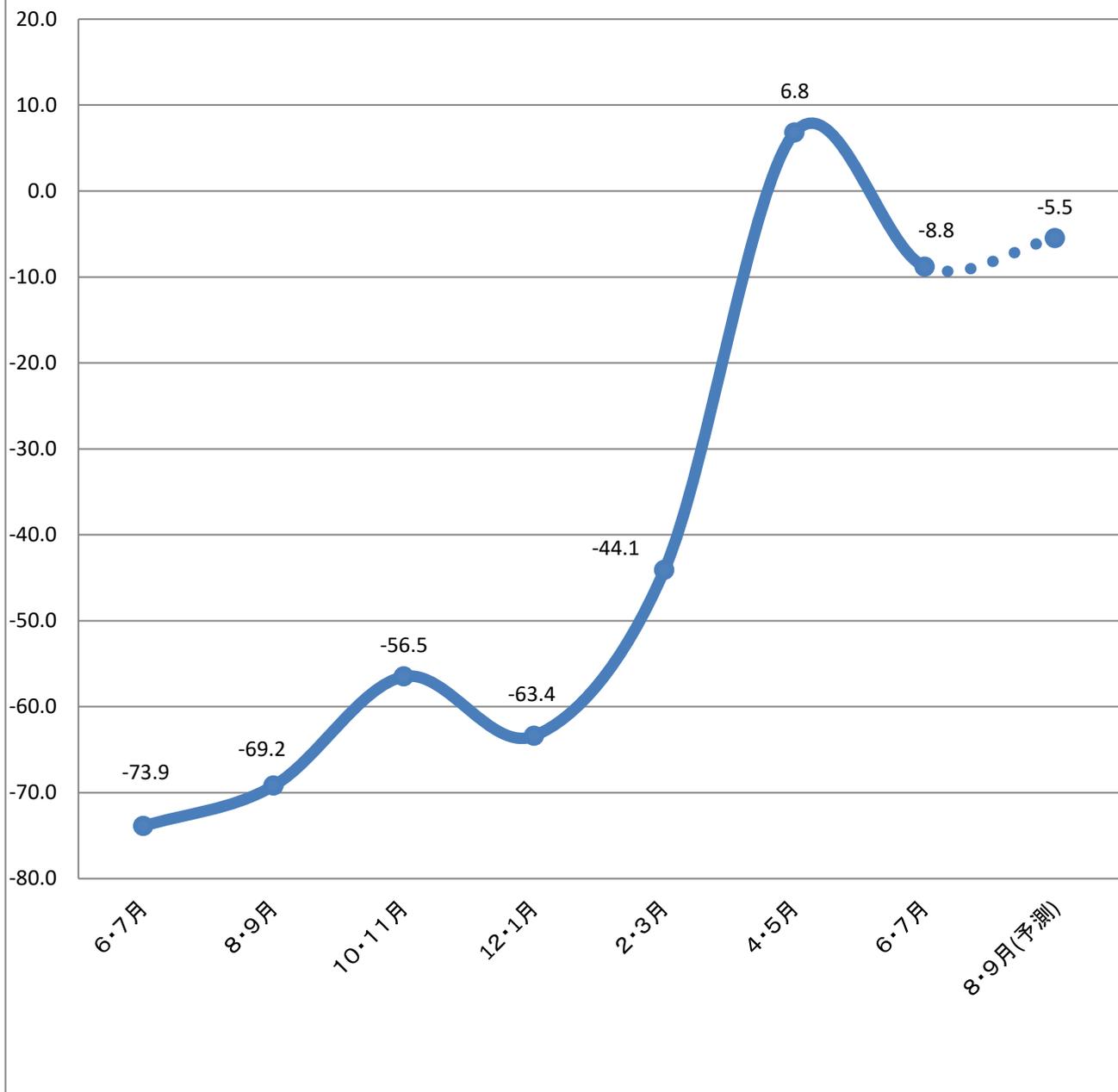
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは▲13.3と前期と同ポイント（横ばい）となった。

○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDI ○横ばい⇒仕入単価DI

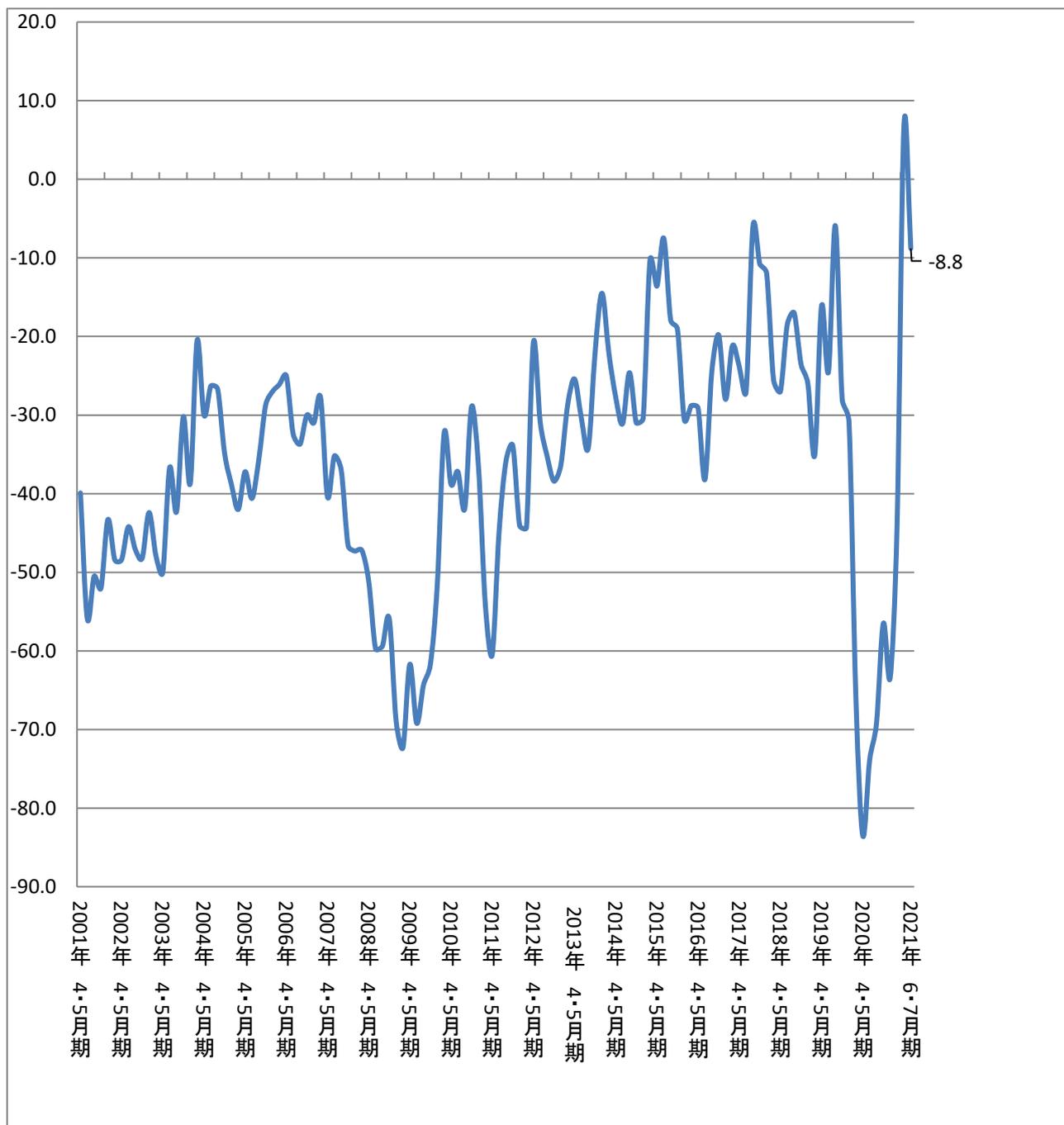
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2021年6・7月期)

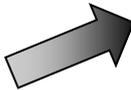
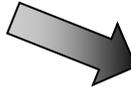


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲8. 8	▲5. 5	1. 1	▲18. 7	▲52. 7	2. 2	▲1. 1

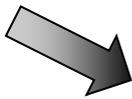
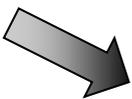
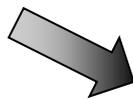
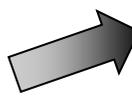
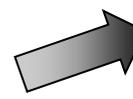
6－7月期の全業種総合の業況D I は、▲8. 8（前期比15. 6ポイント減）と3期ぶりの悪化となった。

項目別

- 3期連続悪化⇒仕入れ単価D I（▲40. 9→▲52. 7）
 - 2期連続悪化⇒従業員D I（3. 4→2. 2）
 - 今期より悪化⇒売上D I（12. 5→1. 1）、採算D I（▲2. 3→▲18. 7）、
 - 今期より横ばい⇒金融貸出しD I（▲1. 1→▲1. 1）
- 向こう3ヶ月の先行き業況は、▲5. 5と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

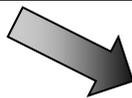
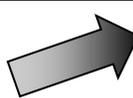
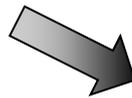
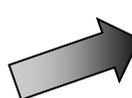
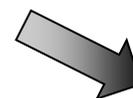
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
22.7	▲4.5	31.8	22.7	▲59.1	4.5	0.0

業況D Iは22.7（前期比7.3ポイント減）と5期ぶりの悪化となった。

項目別

- 2期連続改善⇒従業員D I（0.0→4.5）
 - 今期より改善⇒金融貸出しD I（▲5.0→0.0）
 - 3期連続悪化⇒仕入単価D I（▲45.0→▲59.1）
 - 今期より悪化⇒売上D I（40.0→31.8）、採算D I（35.0→22.7）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲4.5と悪化する見通し。

建設業

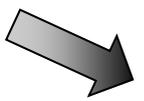
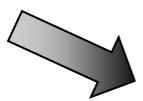
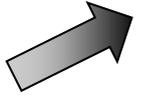
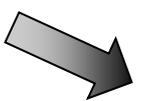
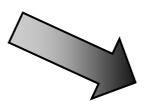
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲37.5	▲6.3	▲31.3	▲56.3	▲87.5	25.0	▲6.3

業況D Iは▲37.5（前期比2.2ポイント減）と3期ぶりの悪化となった。

項目別

- 今期より改善⇒従業員D I（17.6→25.0）
 - 5期連続悪化⇒仕入単価D I（▲64.7→▲87.5）
 - 4期連続悪化⇒採算D I（▲52.9→▲56.3）
 - 今期より悪化⇒売上D I（▲29.4→▲31.3）、金融貸出しD I（0.0→▲6.3）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲6.3と改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0.0	▲10.0	40.0	▲20.0	▲55.0	0.0	5.0

業況D Iは0.0（前期比26.3ポイント減）と7期ぶりの悪化となった。

項目別

○3期連続改善⇒売上D I（26.3→40.0）

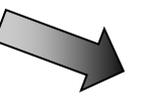
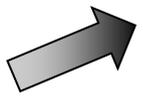
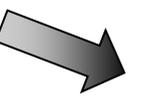
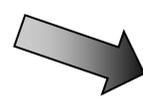
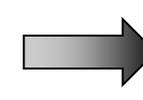
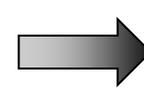
○今期より改善⇒金融貸出しD I（▲5.3→5.0）

○3期連続悪化⇒仕入単価D I（▲47.4→▲55.0）

○今期より悪化⇒採算D I（▲5.3→▲20.0）、従業員D I（10.5→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲10.0と悪化する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲27.8	▲16.7	▲38.9	▲22.2	▲33.3	0.0	0.0

業況D Iは、▲27.8（前期比45.4ポイント減）と3期ぶりの悪化となった。

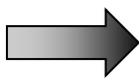
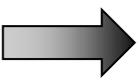
項目別

○今期より悪化⇒売上D I（23.5→▲38.9）、採算D I（29.4→▲22.2）、
仕入単価D I（▲17.6→▲33.3）

○今期より横ばい⇒従業員D I（0.0→0.0）、金融貸出しD I（0.0→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲16.7と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲13.3	13.3	▲13.3	▲33.3	▲26.7	▲20.0	▲6.7

業況D Iは▲13.3と前期と同ポイント（横ばい）となった。

項目別

○2 期連続悪化⇒従業員D I（▲13.3→▲20.0）

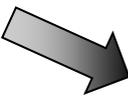
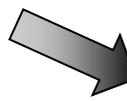
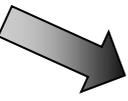
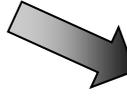
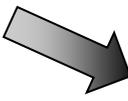
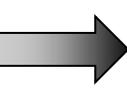
○今期より悪化⇒売上D I（▲6.7→▲13.3）、採算D I（▲26.7→▲33.3）、
金融貸出しD I（6.7→▲6.7）

○今期より横ばい⇒仕入単価D I（▲26.7→▲26.7）

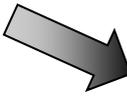
向こう3ヶ月の業況は、13.3と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

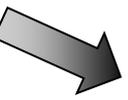
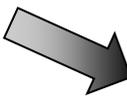
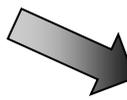
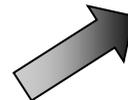
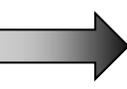
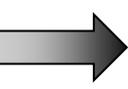
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

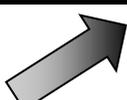
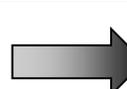
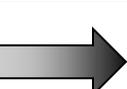
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

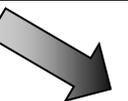
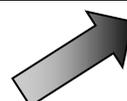
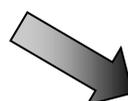
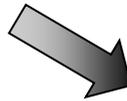
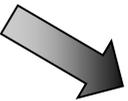
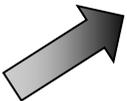
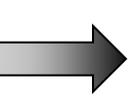
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

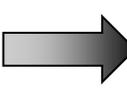
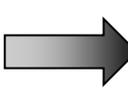
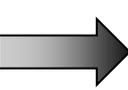
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

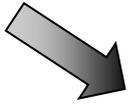
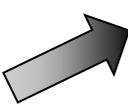
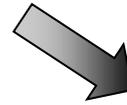
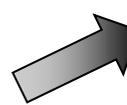
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

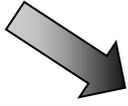
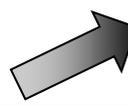
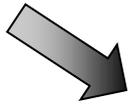
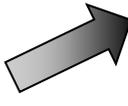
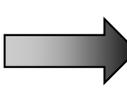
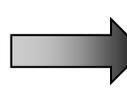
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

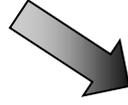
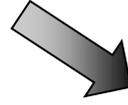
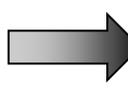
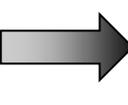
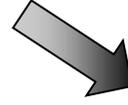
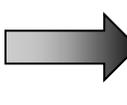
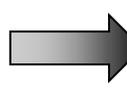
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

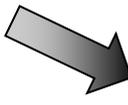
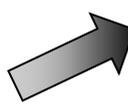
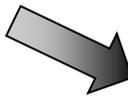
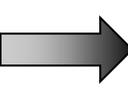
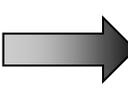
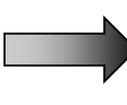
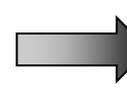
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

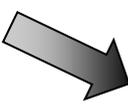
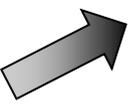
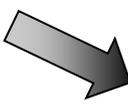
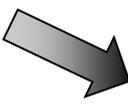
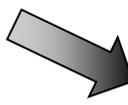
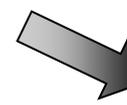
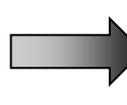
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

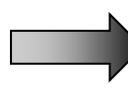
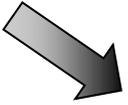
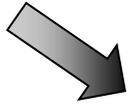
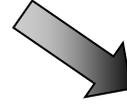
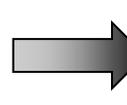
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

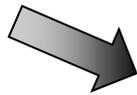
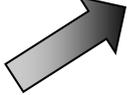
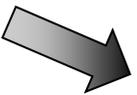
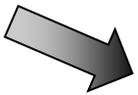
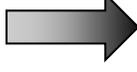
小売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

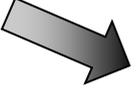
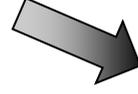
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

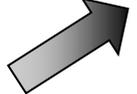
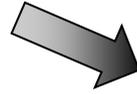
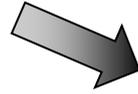
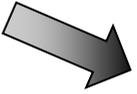
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

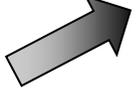
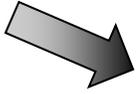
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

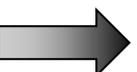
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・昨年全く引合いが無かったブライダル関係が多少改善したことなどがあり、昨年同期と比べると業況は好転。しかし、8月以降はホテル・観光関連が昨年以上の停滞が予測され、見通しは厳しい。

製造業（工業製品）

- ・コロナ禍前と比べて売上は減少しているが、利益は費用支出を抑制しているため好転した。

製造業（宝飾）

- ・昨年と比較すると多少は良くなっているが、コロナ禍前と比較すると業況は良くない。
- ・新型コロナウイルスの影響が続いているが、高額商品に動きがあったため、利益面で好転している。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・小売向け食品は堅調。

卸売業（その他）

- ・上昇気配ではあるが、業界での優劣がはっきりしてしまっている。
- ・原油の高騰により仕入価格が上昇し、採算面は厳しい状況であったが、济活動の活発化などにより、採算の改善が期待できる。

【建設業】

建設業（建築）

- ・コンクリート、鉄骨、木材などの資材が高騰しており、ますます採算が取りづらい状況。
- ・大手の下請けは多少忙しいが、全体的には売上は減少している。

建設業（土木）

- ・直近の水準でみると好転する見通しだが、長期的にみると不変の状態が続くと考えられる。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・2019年と比較しても1~2割減程度と復調傾向にあり、消費意欲も例年並みに戻りつつある。

小売業（趣味・日用品）

- ・先行きが全く分からない状況が続いている。
- ・原油、ナフサの高騰により、仕入れにおいて15~20%の値上げが行われている。

【サービス業】

サービス業（観光）

- ・コロナ禍前と比べると、4~5割ぐらいで推移している。徐々に人が戻りつつあるが、コロナ感染者数が増加しているため、見通しは不透明。

サービス業（飲食その他）

- ・依然として飲食業界は悪化状態が続いている。

以上